

コラム 浅間温泉の供養塔

3.4 戊の満水でも説明しましたが、浅間温泉地区は何度も土砂洪水災害を受けてきました。写真3.23は上浅間の「梅の湯旅館」の庭にある供養塔です。

供養塔記には、「乗妙典千部の埋蔵供養のため、嘉永五年（1852）春当館主より五代前大庄屋中野源七が、浅間村災害防止祈願のため建立したもので、昭和47年（1972）4月、中野源三郎氏

の勧めにより大音寺跡の一隅より遷祭したものである。梅の湯に於ては先祖の偉業と石工の美技を讃え、また当館の文化財として保存するため、之を記し伝えるものである。

昭和47年5月18日 館主 中野宏人
本郷地区景観整備委員会

と記されています。



写真3.23 梅の湯の庭にある供養塔 嘉永五年(1852)に災害防止祈願のために建立
この供養塔は大音寺にあったが、昭和47年(1972)現在地に遷祭した。2024年撮影



写真3.24 大音寺墓地
2024年撮影



写真3.25 東泉部薬師堂
2024年撮影